

# 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 概要

## 1 設置目的

航空宇宙に関する資料を収集、展示するとともに、航空宇宙技術史及び航空宇宙開発への挑戦の物語を伝えることにより、将来の航空宇宙産業を担う人材の育成を図り、もって産業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的とする。

## 2 基本的な運営方針

### (1) 資料の収集・保管

世界又は日本における航空宇宙の挑戦や技術開発の歴史、あるいは県内の航空宇宙産業や航空宇宙史において重要な資料を収集、保管する。

### (2) 資料の展示

航空宇宙を舞台に、技術開発への飽くなき探求の姿を「技術」と「人」を中心に紹介し、その歴史を辿るとともに、今後の航空宇宙開発への期待と夢を醸成する。

### (3) 調査研究

収集した資料等を基に、航空宇宙の挑戦や技術開発の歴史等に関する調査研究を行い、その成果を展示や企画展等を通じて社会に還元する。

### (4) 普及啓発活動

展示や講座、イベント等を通じて、航空宇宙に関する知識、技術等の普及啓発を図る。特に子ども向けには、「難しいことをわかりやすく」伝えることに留意しつつ、「見て・体験して・遊んで・考える」ことにより、楽しく学べる事業を実施する。

### (5) 博物館の魅力向上

「何度も訪れたい施設」を目指し、展示物の充実、スペースボックスを活用した本格的な企画展の開催、各種講座や教育プログラムの改善により、博物館の魅力向上を図り、リピーターの確保に努める。

### (6) 国内外の航空宇宙関連機関等との連携

世界につながる博物館を目指し、国内外の航空宇宙関連機関や博物館等と連携し、航空宇宙に関する最新の情報や資料の収集、共同企画展やイベントの提案、企画、開催及び人的交流に取り組み、博物館の魅力や運営能力の向上を図る。

#### **(7) 地域の多様な主体との連携**

地域の多様な主体と連携し、地域活力の向上に積極的に取り組み、社会的課題や地域的課題の解決に貢献する。

#### **(8) 広報・PR活動**

より幅広い層に博物館の魅力を知ってもらい、来館につなげるため、多様な媒体を活用し、イベントや館内展示物に係る情報をきめ細かく発信する。また、ターゲットを明確にしたプロモーション活動を多角的に実施し、誘客促進を図る。

#### **(9) 職員の能力向上**

職員の能力、資質、接客スキルの向上に加え、グローバル化に対応した人材の養成に努め、博物館の運営能力の向上を図る。また、収蔵資料の調査研究を進め、その結果を内外で公表する等、業務を通じて研鑽を図る。

#### **(10) 利用者の安全・安心の確保**

利用者が快適に博物館を観覧できるよう、施設の維持管理を適切に実施するとともに、事故、災害、不審者等危機事案発生時の安全確保対策に万全を期する。

#### **(11) 利用者に応じたサービスの提供**

高齢者、障がい者、乳幼児の保護者、外国人その他特に配慮を必要とする利用者がより快適に博物館を観覧できるよう、個別の特徴や事情に応じたサービスの提供に努める。

#### **(12) SDGsの推進**

博物館も社会を構成する一員であることを認識し、持続可能な社会の実現に向け、SDGsに掲げられている理念を念頭に博物館の運営及び事業を行う。